



# 奈良県感染症情報

令和3年第28週(7月12日～7月18日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 小児科外来情報
- L452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)の実施状況

## ◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	RSウイルス感染症	4.97	(3.76)	➔	↗	➔	↓
2	感染性胃腸炎	2.31	(2.94)	↘	↘	↘	↘
3	突発性発しん	0.49	(0.32)	➔	↑	↘	↑↑
4	咽頭結膜熱	0.29	(0.35)	↘	↑	↓	➔
5	ヘルパンギーナ	0.20	(0.12)	↑	↑	↑	↑↑

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**➔横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

## ◆県内概況◆

第28週の新型コロナウイルス新規感染者数は130名と前週の87名から増加しました。RSウイルス感染症の報告は引き続き高い水準で推移しています。

気温が高くなってきましたがマスクを着用しているとしていない場合と比べ、心拍数や呼吸数、体感温度などが上昇するなど、身体に負担がかかることがあります。高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなるおそれがあるので、屋外で人と十分な距離(少なくとも2m以上)が確保できる場合には、マスクをはずすようにしましょう。マスクを着用する場合には、強い負荷の作業や運動は避け、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給を心がけましょう。外出時は暑い日や時間帯を避け、涼しい服装を心がけましょう。

## ❖小児科外来情報❖

### 北部地区(田中小児科医院)

RSウイルス感染症は多く、減少傾向が見られない。  
 クループ様咳の患児(RSは陰性)が複数いた。ウイルス性胃腸炎は少なくなった。  
 発熱を伴う発疹症があるが、ウイルス検査などの確定診断に至っていない。

### 中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は増加していない。  
 感冒症状もやや減少。RS感染例も減少した。  
 感染性腸炎が少し。手足口病、ヘルパンギーナ等は見られない。

### 南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

RSウイルスの流行が続いている。乳児以外でも幼児の重症例がみられる。また遷延する呼吸器症状者では、肺炎球菌感染症も散見されている。  
 手足口病、ヘルパンギーナの流行はないが、ウイルス性発疹症(原因ウイルス不詳)やウイルス性胃腸炎が増加しつつある。対症療法で軽快している。

## ❖L452R変異株PCR検査(スクリーニング検査)の実施状況❖

検査実施週	L452R変異株PCR検査数	L452R変異株陽性者数	国立感染症研究所におけるゲノム解析結果(判明数のみ)		
			デルタ株	デルタ株以外の 変異株	解析不能
6月7日～7月4日	3 (N501Y変異株PCR検査)	-	3※	-	-
	140	3	1	0	0
7月5日～7月11日	20	0	0	0	0
7月12日～7月18日	45	3	0	0	0
計	205	6	4	0	0

デルタ株: インドで最初に検出された変異株

※N501Y変異株PCR検査を実施し、陰性であった3検体を国立感染症研究所へ送付しゲノム解析した結果、すべてデルタ株であるとの報告が6月21日ありました。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 3 年 第 28 週 7 月 12 日 ~ 18 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54	13	14	11	10	2	4	
インフルエンザ								
小児科定点数	35	10	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	174 (4.97)	41 (4.10)	38 (4.22)	43 (6.14)	48 (8.00)		4 (2.00)	
咽頭結膜熱	10 (0.29)	2 (0.20)	4 (0.44)	1 (0.14)	2 (0.33)	1 (1.00)		
A群溶連菌咽頭炎	6 (0.17)	1 (0.10)	3 (0.33)	1 (0.14)	1 (0.17)			
感染性胃腸炎	81 (2.31)	28 (2.80)	8 (0.89)	18 (2.57)	24 (4.00)		3 (1.50)	
水痘	3 (0.09)	1 (0.10)					2 (1.00)	
手足口病	4 (0.11)	1 (0.10)		2 (0.29)		1 (1.00)		
伝染性紅斑								
突発性発しん	17 (0.49)	9 (0.90)	2 (0.22)	3 (0.43)	2 (0.33)		1 (0.50)	
ヘルパンギーナ	7 (0.20)		2 (0.22)	4 (0.57)			1 (0.50)	
流行性耳下腺炎	1 (0.03)		1 (0.11)					
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	4 (0.40)	3 (1.00)		1 (0.50)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核4件(奈良市2、中和2)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症2件(奈良市1、中和1)
4類感染症	
5類感染症	梅毒1件(奈良市)

❖ 第28週のトピックス ❖

◆「新型コロナウイルス感染症対策の新たな展開について」(奈良県HP)  
<http://www.pref.nara.jp/58964.htm>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。  
 旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数  
 (下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男																						1
	女																						
RSウイルス感染症	男	6	9	18	23	13	15	6	3	1			1									95	1291
	女	5	4	26	16	10	11	4	3													79	1148
咽頭結膜熱	男		1	2		1																4	210
	女		1	2	1	1	1															6	146
A群溶連菌咽頭炎	男					1				2												3	207
	女						1			1				1								3	169
感染性胃腸炎	男		2	12	6	4	6		2	4	2	1	6									48	1476
	女		3	4	7	2	1	5	4	1	1		1		3	4						33	1266
水痘	男					1	1															2	29
	女		1																			1	26
手足口病	男			2																		2	35
	女			1			1															2	18
伝染性紅斑	男																						3
	女																						4
突発性発しん	男		4	5	1																	10	201
	女		2	3	2																	7	167
ヘルパンギーナ	男			1	2		1															4	19
	女			1	2																	3	17
流行性耳下腺炎	男							1														1	21
	女																						12
急性出血性結膜炎	男																						1
	女																						
流行性角結膜炎	男																2				1	3	41
	女						1															1	15
細菌性髄膜炎	男																						3
	女																						3
無菌性髄膜炎	男																						2
	女																						1
マイコプラズマ肺炎	男																						2
	女																						
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						1
	女																						1

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

